

# 9 消 防 費

1, 747, 949, 348円

項 目	ペー ジ
消 防 費	
防災対策費……………	525



## 防 災

消防費は、総合長期計画基本構想にある「安全で快適に暮らせるまち」の理念達成のため、諸計画にもとづく防災施策を推進し、災害に強いまちづくりに努めた。

### 1 常備消防の充実

常備消防としては、本年度も東京都に事務委託をし、東京消防庁青梅消防署を中心に多様化する災害への対応を図るとともに、防災および救急体制の充実に努めた。

### 2 青梅市消防団の充実

青梅市消防団においては、改選に伴い、30名の団員が退団した。

また、山林火災時の技術向上を図るため、山林火災対応訓練を明星大学青梅校敷地内で実施したほか、団員の受傷防止のため切創防止用保護衣を各部に配備するとともに、消防車両の備品として、ドライブレコーダー41台を整備した。

### 3 市民の防災意識向上

防災関係機関相互の連携の強化、防災計画の運用習熟を図るとともに、市民の防災意識の高揚等、災害対応能力の強化を図った。

また、11月28日に青梅市立第一中学校等において総合防災訓練を実施した。

なお、6月27日の東青梅地区における土砂災害対応訓練、2月5日の職員による感染症対策を踏まえた避難場所開設訓練については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止とした。

### 4 国土強靱化地域計画の策定

自然災害等からの被害の軽減を図るとともに、最悪の事態を回避し、災害に強いまちづくりを推進するため、「青梅市国土強靱化地域計画」を策定した。

消 防 費

1, 747, 949, 348円
-------------------

○ 防 災 対 策 費 (1, 747, 949, 348円)

[防災課]

### 1 常備消防経費

(1) 事務委託費 1,375,659千円

### (2) 青梅消防署の現況

#### ア 消防吏員数

(単位：人)

署・出張所	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務	合計
本 署	1	3	12	27	40	25	10	2	120
日 向 和 田	0	0	1	8	12	14	3	0	38
長 淵	0	0	1	7	9	5	4	0	26
合 計	1	3	14	42	61	44	17	2	184

(歳出 9 消 防 費)

イ 車両保有数

区 分	本 署	日向和田出張所	長 淵 出 張 所	合 計
消 防 ポ ン プ 車	3	2	2	7
は し ご 車	1	—	—	1
化 学 車	1	—	—	1
救 助 車	1	—	—	1
救 急 車	2	1	1	4
広 報 車	3	—	—	3
指 揮 車	1	—	—	1
指 揮 隊 車	1	—	—	1
人 員 輸 送 車	1	—	—	1
山 岳 救 助 車	1	—	—	1
資 材 輸 送 車	1	—	—	1
消 防 活 動 二 輪 車	—	3	—	3
合 計	16	6	3	25

※ 本署救急車1台、本署消防ポンプ車1台、長淵出張所消防ポンプ車1台、日向和田出張所消防活動二輪車1台は非常用車両。

ウ 消防ポンプ車等の出動状況

(単位：延台数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
611	544	578	577	737	601	629	643	651	699	551	615	7,436

エ 救急車の出動状況

(単位：回)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
445	480	431	553	591	482	573	526	623	616	584	549	6,453

2 消防団運営経費

(1) 消防団火災等出動状況

(単位：件、人、回)

火 災 出 動					水 災 出 動			そ の 他 出 動	
火 災 件 数	出 動 回 数	延 出 動 団 員 数	1 回 平 均 団 員 数	団 員 1 人 平 均 回 数	出 動 回 数	延 出 動 団 員 数	出 動 回 数	延 出 動 団 員 数	
39	32	1,039	32	2.1	0	0	52	1,879	

## (2) 消防団員等損害補償

(単位：円)

所 属	傷病名	原 因	療 養 補償費	休 業 補償費	休 業 援護金	合 計
第 5 分団	右手首捻挫・化膿性関節炎	火災出場	11,066			11,066
第 5 分団	右上腕骨外側上顆炎	訓 練	13,186			13,186
合 計			24,252			24,252

## (3) 消防団員退職状況

(単位：人)

勤務年数	5年未満	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25年以上	合 計
退職人員	10	12	13	7	0	0	42

## (4) 消防団出初式

1月9日(日)、明星大学青梅校体育館において、消防団恒例の出初式を規模を縮小して挙行し、団員ならびに消防団活動に協力のあった団体について表彰した。

また、市内1事業所に対する消防団協力事業所表示証の交付や青梅市青少年吹奏楽団の協力により、記念演奏を行った。

## ア 団長表彰

表 彰 区 分	被 表 彰 者					
表 彰 状 お よ び 表 彰 き 章	第5分団第4部	副部長	須崎 茂樹	以下	32人	
精 績 章	第3分団本部	副分団長	伊藤 崇司	以下	65人	
精 勤 章	第3分団第2部	班 長	牧 拓也	以下	4人	

## イ 一般表彰

表 彰 区 分	被 表 彰 団 体	
消防団の支援および発展に寄与した功績	団 体	青 梅 市 自 治 会 連 合 会 第 5 支 会

## (5) 消防団上部団体等からの表彰

## ア 総務省消防庁長官表彰

永年勤続功労章 団 本 部 副 団 長 濱 野 馨

## イ 東京都消防褒賞

団 本 部 副 団 長 田 中 克  
第 3 分 団 分 団 長 羽 村 勇 人  
第 4 分 団 分 団 長 中 川 進 二

## ウ 日本消防協会定例表彰

精 績 章 第 6 分 団 分 団 長 根 岸 克 武  
勤 続 章 第 5 分 団 第 4 部 団 員 片 柳 政 光

(歳出 9 消 防 費)

エ 東京都消防協会定例表彰

功 勞 表 彰 第 8 分 団 分 団 長 佐 野 一 寛  
以下 3 人  
優 良 表 彰 第 2 分 団 第 5 部 部 長 松 下 将 之  
以下 9 人

オ 東京都三多摩消防団連絡協議会表彰

功 績 表 彰 第 1 分 団 ・ 第 4 分 団 ・ 第 5 分 団 ・ 第 6 分 団  
優 良 表 彰 第 1 分 団

カ 西多摩地区消防団連絡協議会表彰

功 勞 章 団 本 部 副 団 長 小 林 正 寿  
以下 8 人  
精 績 章 第 3 分 団 分 団 長 羽 村 勇 人  
以下 11 人  
永 年 勤 続 功 勞 章 第 3 分 団 分 団 長 羽 村 勇 人  
以下 28 人

キ 東京消防庁消防総監表彰

竿 頭 綬 青梅市消防団  
消 火 活 動 功 勞 団 本 部 ・ 第 1 分 団 ・ 第 4 分 団 ・ 第 5 分 団 ・ 第 6 分 団

(6) 消防団協力事業所表示証交付

清水燃料株式会社

(7) 消防団運営費交付金支給状況

支給総額 17,215千円 (単位：人、千円)

区	分	本 部	第 1 部	第 2 部	第 3 部	第 4 部	第 5 部	第 6 部	合 計
団本部	算定人員	501	—	—	—	—	—	—	—
	金 額	856	—	—	—	—	—	—	856
第1分団	算定人員	76	18	16	16	8	16	—	—
	金 額	588	439	406	406	274	406	—	2,519
第2分団	算定人員	84	10	11	17	15	15	14	—
	金 額	579	267	324	370	363	376	320	2,599
第3分団	算定人員	43	8	8	13	12	—	—	—
	金 額	493	274	274	356	340	—	—	1,737
第4分団	算定人員	63	10	11	9	12	8	11	—
	金 額	539	254	324	291	340	261	323	2,332
第5分団	算定人員	74	13	17	16	26	—	—	—
	金 額	583	357	422	75	591	—	—	2,028
第6分団	算定人員	49	12	14	12	9	—	—	—
	金 額	508	340	380	340	290	—	—	1,858

区	分	本部	第1部	第2部	第3部	第4部	第5部	第6部	合計
第7分団	算定人員	44	13	11	9	9	—	—	—
	金額	496	357	344	290	290	—	—	1,777
第8分団	算定人員	53	12	15	13	11	—	—	—
	金額	503	301	52	343	310	—	—	1,509

(8) 市内火災発生状況

ア 地区別火災発生状況

(単位：件、㎡、円、人)

分 団	建 物			林 野			そ の 他			合 計			死 者	傷 者
	件数	焼失面積	損害額	件数	焼失面積	損害額	件数	焼失面積	損害額	件数	焼失面積	損害額		
1	2	0	544,300	0	0	0	2	0	500,000	4	0	1,044,300	0	2
2	6	7	2,435,800	0	0	0	2	0	7,400	8	7	2,443,200	0	3
3	7	92	15,565,300	0	0	0	1	0	300	8	92	15,565,600	0	0
4	1	36	2,265,500	1	0	25,000	4	0	0	6	36	2,290,500	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	4	117	14,991,800	0	0	0	2	0	1,000,000	6	117	15,991,800	0	1
7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	6	0	413,100	1	0	0	0	0	0	7	0	413,100	0	1
合計	26	252	36,215,800	2	0	25,000	11	0	1,507,700	39	252	37,748,500	0	7

イ 月別火災発生状況

(単位：件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
7	2	1	3	3	2	1	3	4	3	2	8	39

ウ 原因別火災発生状況

(単位：件)

放 火	煙 草	火遊び	ガステーブル	電気配線	暖房器具	たき火	花 火	その他	合 計
6	4	3	2	1	0	0	0	23	39

※ 火災原因その他内訳

マッチ1件、ロウソク1件、蚊取り線香1件、ライター1件、溶接器1件、大型ガスコンロ1件、他

(9) 消防団の活動

ア 西多摩地区消防大会

西多摩地区消防大会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため表彰のみ実施となった。

イ 山林火災対応訓練

11月14日(日)、明星大学青梅校敷地内において、山林火災における活動時の注意点等を習得するため、各分団1隊が参加し、山林火災対応訓練を実施した。

(歳出 9 消 防 費)

ウ 消防団主要行事

月	日	行 事 内 容	実 施 場 所 等
4月	9日	西多摩地区消防団連絡協議会総会	瑞穂町スカイホール
	13日	東京都三多摩消防団連絡協議会総会	パレスホテル立川
	27日	東京都消防協会総会	書面開催
	27日	幹部震災図上訓練	青梅市役所
6月	3日	幹部水災図上訓練	青梅市役所
10月	30日	専科教育（機関科）	東京都消防訓練所
11月	9～15日	秋の火災予防運動	市内全域
	13日	消防ポンプ車・小型動力ポンプ点検	市内各所
	14日	機関運用訓練・山林火災対応訓練	明星大学青梅校
	14日	専科教育（警防科）	東京都消防訓練所
	20～21日	幹部教育研修（指揮幹部）	東京都消防訓練所
12月	5日	専科教育（救助科）	東京都消防訓練所
	7日	幹部震災図上訓練	青梅市役所
	25～31日	歳末警戒	市内全域
	30日	歳末警戒分遣所巡視	市内全域
1月	1日	初詣特別警戒	市内各所
	9日	消防団出初式	明星大学青梅校
3月	1～7日	春の火災予防運動	市内全域
	19日	専科教育（初級幹部）	東京都消防訓練所

エ 備品の購入・配布状況

(ア) 消防ホース

(単位：本)

第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	第6分団	第7分団	第8分団	合 計
10	12	8	12	10	9	9	8	78

(イ) 防火服

(単位：着)

第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	第6分団	第7分団	第8分団	合 計
5	6	4	6	5	5	5	4	40

3 災害対策経費

(1) 防災講演会

「防災とボランティア週間」に合わせて、1月16日に青梅市役所において、防災講演会を開催した。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として参加者を制限し、青梅市公式動画チャンネル（YouTube）で講演内容を公開した。

また、「防災とボランティア週間」期間中の1月15日から1月21日の間、市役所にて日常備蓄等に関するパネル展示を実施した。

ア 講演 気象と災害について～日々進化する防災気象情報～

講師 松野 裕耶 氏

（東京管区气象台気象防災部防災調査課防災情報管理係長）

イ 参加者 59人

## (2) 震災および風水害等の対策

## ア 災害対策用食料等の購入

(単位：箱)

施設名称	品 目				
	白 米 (50食入り)	五 目 ご は ん (50食入り)	ビスケット (50食入り)	アレルギー対応 ビスケット (48食入り)	液体ミルク (24本入り)
森下防災倉庫	50	20	70	1	
第一小学校			17	1	
第一中学校			19	1	
梅郷市民センター	32	20	30	1	
第五小学校			24	1	
西中学校			16	1	
今井市民センター	37	19	19	1	
藤橋小学校			15	1	
青梅市役所					13
合計	119	59	210	8	13

## イ 災害対策用衛生用品の購入

衛生用品として、生理用品、子供用・大人用おむつを購入した。

## ウ 青梅市における気象

## (ア) 降水量

(単位：mm)

観測場所	降 水 量	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
市 役 所	月 合 計	67	72	141.5	256	207	140.5	130	61	53	10	29.5	91	1,258.5
	日 最 大	46.5	26	38.5	59.5	44.5	46	61.5	45.5	24	10	16	40.5	—
	時間最大	11.5	5.5	10	10.5	12	15.5	8	9	8	2.5	2	8.5	—
梅郷市民 センター	月 合 計	104.5	74.5	145.5	274.5	231	146.5	134	50	47.5	11	28	77.5	1,324.5
	日 最 大	82.5	27.5	35.5	57.5	46.5	52	61	38.5	22	11	15	38	—
	時間最大	18.5	5.5	10.5	18.5	13.5	17	9	8.5	7.5	3	2	7	—
御岳山防災 センター	月 合 計	73.5	79.5	167.5	231	221	144	134.5	49	38.5	8.5	21	63.5	1,231.5
	日 最 大	50	27.5	48	51	38.5	44	50	33.5	24.5	8.5	14.5	31.5	—
	時間最大	10	6	25	16	15	11	8.5	8.5	7	2.5	1.5	6.5	—
小曾木市民 センター	月 合 計	67.5	74	147.5	251	174.5	79.5	139	58	51	10.5	28	93	1,173.5
	日 最 大	45.5	28.5	38.5	56	41	24.5	61	45	21.5	10.5	16	38.5	—
	時間最大	10.5	6	12.5	8	5.5	6.5	7.5	9.5	7	3	1.5	9	—
第7分団 第3部2班 詰 所	月 合 計	91.5	74.5	156.5	330	248	153.5	140.5	51.5	46	6.5	23.5	74	1,396
	日 最 大	77.5	27	41	61.5	50	54	60	37	21	6.5	13	33.5	—
	時間最大	12	6	14	55	13	11.5	8.5	8	7	1	1.5	9	—

(歳出 9 消 防 費)

観測場所	降水量	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
今井市民センター	月合計	63.5	66	129	268	182	137.5	129	57	52	9.5	27.5	88	1,209
	日最大	38.5	24.5	33.5	56	34.5	43	57.5	44.5	26.5	9.5	15.5	39	—
	時間最大	12.5	7.5	18.5	13.5	12	15.5	8.5	9	7.5	2.5	2	11	—
沢井市民センター	月合計	101.5	78	158	268	225	145.5	148	57.5	58.5	11	36	89.5	1,376.5
	日最大	76.5	29	45.5	52	40.5	45.5	64	41.5	25	11	18.5	40	—
	時間最大	11.5	6	10	23.5	10	10	8.5	9	7.5	2.5	2.5	10	—
アメダス青梅(新町)	月合計	65.5	78.5	143.5	248.5	206	154	135.5	68.5	61.5	11	29.5	93.5	1,295.5
	日最大	40	29.5	37.5	55.5	43	47	60.5	48	28	10.5	15	42	—
	時間最大	12	7	11.5	10	15	14.5	9	9.5	7.5	2	2	9	—

(イ) 気温・風向・風速

(単位：℃、m/s)

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
アメダス情報	気温	平均	日平均	13.6	18.3	21.6	25	26.3	21.1	16.8	11.3	5.7	2.6	3.1	9.4	
		日最高	20	23.6	27.1	30.2	31	25.2	22	17.6	11.9	9	9.8	16		
		日最低	7.6	13.6	17.5	21.3	22.6	17.7	12.4	6.1	0.2	-3.2	-2.9	3.7		
	最高	最高	26.6	29	31.4	35.8	37.8	31.3	30.2	21.7	19.9	13.1	17.3	24.5		
		最低	3.5	7.2	14	18.8	17.9	14.5	4.8	-1.5	-6.7	-7.1	-7.2	-1.6		
	風向	平均風速	1.3	1.2	1.3	1	1.2	0.8	0.9	0.8	1.1	1.2	1.2	1.5		
		最大	風速	5.5	5.4	5	4.6	6	4.1	4.7	3.7	5.8	4.4	4.6	6.1	
	風速		瞬間	最大	風速	12	12.2	11.3	8	12.1	7.7	8.3	10.8	14	10.5	11
		風向		東南東	南南東	南南東	南	南	東南東	南南東	南南西	西南西	西北西	西北西	南	

値)：準正常値…品質に軽微な問題があるか、または統計値を求める対象となる資料の一部が許容する範囲内で欠けている場合

情報は気象庁が観測するアメダス情報による。

アメダス設置場所 都農林総合研究センター青梅庁舎(新町6-7-1)

(3) 青梅市防災会議

ア 青梅市防災会議委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
◎浜中啓一	市長		江本浩	指定公共機関、指定地方公共機関および公共的団体の役員または職員	6.17退任
松本信也	指定地方行政機関職員	4.1就任	土田大介		6.18就任
入江大輔	自衛隊員	3.13退任	百瀬澄雄		
盛谷信義		3.14就任	小嶋延章		
矢島剛	都職員		高橋正		5.7退任
播磨あかね			宮口泉		5.8就任
高橋正彦		4.1就任	岩浪岳史		
副島多光生	警察官		久保稔		
下村秀毅	消防吏員	4.1就任	明石吉永		
川鍋重美	消防団長		館盛和		
池田央	副市長	12.31退任	金子典由		
小山高義		1.1就任	原田裕美子		
岡田芳典	教育長	10.12退任	小林弘政		
橋本雅幸		10.13就任	野島壯一		
高橋昌弥	指定公共機関、指定地方公共機関および公共的団体の役員または職員		宮口泉	自主防災組織代表者	5.7退任
飯島秀樹			小花紀彦		7.6就任
高山英一			加藤めぐみ	学識経験者	
遠藤智志		8.22退任	原義人	病院事業管理者	
富川泰介		8.23就任	小平久美子	市職員	11.19就任
野崎啓太郎			中村幸子		11.19就任
梅田純一			木村芳夫		
中村洋介					

◎は会長

イ 防災会議の開催

月日	内容
11.19	青梅市地域防災計画の修正について 青梅市国土強靱化地域計画の素案について 青梅市総合防災訓練について 青梅市における災害発生状況および災害対策について 備蓄品の備蓄計画について

(4) 総合防災訓練

11月28日午前9時から第一中学校等において、防災関係機関相互の連携強化および市民の防災意識の高揚と災害対応能力の強化を図るため、総合防災訓練を実施した。

(5) 自主防災組織等運営費交付金

ア 運営費交付金

自主防災組織の運営費として、11組織に対し各148,000円を交付した。

イ 防災士育成事業交付金

自主防災組織の強化および防災リーダーの育成を図るため、防災士の資格取得にかかる経費として、5組織に対し総額316,500円を交付した。

また、地域の防災リーダーを育成することを目的とした防災リーダー講習会を実施した。

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として東京都が主催する東京防災学習セミナーを活用し、YouTubeにオンライン配信された動画を視聴する動画配信形式で実施した。

3月1日から21日の間に受講者自身のパソコン等から「地域で取り組む要配慮者対策」として、安否確認や避難行動要支援者名簿の活用方法等をテーマとした動画を視聴してもらう形式で行い、防災リーダーの育成を図った。

(6) 市内危険箇所調査

関係官庁および消防団による市内危険箇所の打ち合わせ会については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため書面開催とした。

なお、市内危険箇所は、次のとおりである。

番号	所在地	危険の種類	危険の状態	備考
1	勝沼2-205-60 ほか	石積倒壊	石積の倒壊の危険性がある。	一部土砂災害警戒区域 宅地造成等規制法にもとづく規制区域
2	根ヶ布1-652-9	擁壁倒壊 土砂流出	擁壁の整備および土砂流出の 予防措置が不適格と思われる。	一部土砂災害警戒区域 宅地造成等規制法にもとづく規制区域
3	根ヶ布2-1372-63	斜面崩壊	法面の保護がなされていない ため、家屋へ危険を及ぼす恐れ がある。	一部土砂災害特別警戒区域 宅地造成等規制法にもとづく規制区域
4	梅郷6-1535-4 付近	斜面崩壊	多摩川右岸の傾斜面が雑排水 等により一部崩壊しており、さ らに崩壊する恐れがある。	土砂災害特別警戒区域
5	友田町1丁目地内	建物浸水	家屋が浸水する危険がある。	多摩川に係る浸水想定区域 洪水予報個別対応地区
6	今寺1-808-13 付近	建物浸水	大門川の溢水により床下浸水 および道路・宅地が冠水した。	過去に被害が発生した箇所
7	今井3-4-24付近 ほか	建物浸水	大雨の際に道路冠水、床上・床 下浸水および工場浸水があっ た。	過去に被害が発生した箇所
8	柚木町1-194先	建物浸水	大雨により多摩川が増水した 際、民間保養施設への被害が想 定される。	地形等から危険が想定さ れる箇所

番号	所在地	危険の種類	危険の状態	備考
9	河辺町1-800付近	斜面崩壊	南斜面にオーバーハングが見られ崩壊の危険がある。崩落発生の場合は、建物3棟に影響の恐れがある。	土砂災害特別警戒区域 宅地造成等規制法にもとづく規制区域 地形等から危険が想定される箇所
10	畑中2-149-2付近	斜面崩壊	住家から4～5m離れたところが垂直な崖となっており、大雨・地震等による崩落があると、人的被害が考えられる。	土砂災害特別警戒区域 地形等から危険が想定される箇所
11	長淵1-21-12付近	斜面崩壊	多摩川右岸の住宅下、傾斜面3箇所が一部崩落しており、さらに崩落する恐れがある。	土砂災害特別警戒区域 地形等から危険が想定される箇所
12	吹上132-1先	擁壁の倒壊 家屋の傾き	擁壁の倒壊の危険性および家屋の傾きがある。	宅地造成等規制法にもとづく規制区域 地形等から危険が想定される箇所
13	二俣尾4-1194付近	斜面崩壊	住宅南側斜面が崩落しており、年々崩落が進んでいる。	土砂災害特別警戒区域 地形等から危険が想定される箇所
14	千ヶ瀬町1丁目地内	崖線崩落	多摩川崖線が小規模崩落している。	土砂災害特別警戒区域 地形等から危険が想定される箇所
15	根ヶ布1-652-17周辺	土砂崩れ	法面の保護がなされていないため、家屋へ危険を及ぼす恐れがある。	一部土砂災害特別警戒区域
16	友田町2-639-7付近	土砂崩れ	法面の保護がなされていないため、家屋へ危険を及ぼす恐れがある。	土砂災害特別警戒区域
17	日向和田3-495-10	地すべり	亀裂の拡大により、さらに崩落する恐れがある。	土砂災害特別警戒区域
18	成木1丁目末成橋付近	建物浸水 道路冠水	成木川の溢水により床下浸水および道路・宅地が冠水した。	過去に被害が発生した箇所

#### (7) 土砂災害対応訓練

6月27日に市庁舎災害対策本部室、東青梅市民センターおよび第四小学校において、関係機関相互の協力体制の緊密化および防災計画の習熟化を図り、市民の防災意識を高めることを目的として実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

#### (8) 避難場所開設訓練

2月5日に震台中学校体育館等において、災害対応の習熟化を図ることを目的に、職員による感染症対策を踏まえた避難場所開設訓練の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

(9) 家具転倒防止器具等支給取付事業

家具転倒防止器具等を支給し、取付けを行うことにより、震災時における人的被害の軽減を図ることを目的として実施した。

支給・取付世帯数

該当要件	立川断層近傍および立川断層帯地震で震度6強以上が想定される地域内の世帯のみに該当	高齢者世帯のみに該当	障害者世帯のみに該当	複数の要件に該当	合計
世帯数	17	1	0	25	43

※ 立川断層近傍および立川断層帯地震で震度6強以上が想定される地域

駒木町2・3丁目、長淵1～5・8・9丁目、友田町、千ヶ瀬町1～3丁目、吹上、野上町、大門、塩船、谷野、木野下、今寺、畑中3丁目、和田町、富岡、小曾木1・2・4・5丁目、成木1・2丁目、東青梅、師岡町、新町、末広町、河辺町、藤橋、今井内の世帯（丁目表示のないものは、その町名区域内全域が対象）

(10) ブロック塀等撤去費補助金交付

道路に面したブロック塀等の撤去を行った19件に対し、総額1,538,000円を交付した。

(11) 国民保護協議会

国民保護協議会委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
◎浜中啓一	市長		梅田純一	指定公共機関、指定地方公共機関の役員または職員	
入江大輔	自衛隊員	3.13退任	中村洋介		
盛谷信義		3.14就任	野崎啓太郎		
高橋宏彰	都職員	4.1就任	江本浩	知識経験者	6.17退任
播磨あかね			土田大介		6.18就任
高橋正彦		4.1就任	百瀬澄雄		
副島多光生	警察官		小嶋延章		
下村秀毅	消防吏員	4.1就任	高橋正		5.7退任
川鍋重美	消防団長		宮口泉		5.8就任
池田央	副市長	12.31退任	岩浪岳史		
小山高義		1.1就任	久保稔		
岡田芳典	教育長	10.12退任	明石吉永		
橋本雅幸		10.13就任	舘盛和		
高橋昌弥	指定公共機関、指定地方公共機関の役員または職員		金子典由		
飯島秀樹			原田裕美子		
高山英一			原義人		
遠藤智志		8.22退任	木村芳夫	市職員	
富川泰介		8.23就任			

◎は会長

#### 4 消防施設維持管理経費

##### 消火栓の設置

(単位：基)

	第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	第6分団	第7分団	第8分団	合計
新設数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
撤去数	1	0	0	0	0	0	0	0	1
増減	△1	0	0	0	0	0	0	0	△1

#### 5 防災行政無線維持管理経費

##### (1) 固定系

市内126箇所に設置している固定系受信所の機械・設備等の点検を目的として、1日1回（4月～9月は午後5時、10月～3月は午後4時）のチャイム放送を実施した。また、小学生の下校時に合わせ、小学生の見守り放送を行うとともに、臨時放送（火災の発生・鎮火など）を実施した。

##### (2) 移動系

災害時における情報の伝達・収集に活用した。

#### 6 避難行動要支援者支援対策経費

避難行動要支援者名簿の平常時からの名簿提供の意思確認と名簿の更新を行った。

区 分	登 録 者 数	備 考
避難行動要支援者名簿	災害時	12,913人
	平常時	8,399人

#### 7 消防施設整備経費

##### (1) 備品の購入・配布状況

品 名	区 分	配 布 先	数 量
背負い式散水装置	更新	第2分団第2部以下3部	3台
ドライブレコーダー	新規	全車両	41台

##### (2) 防火水槽撤去工事

種別	工 事 内 容	契約金額	受 注 者	施 工 場 所	契約工期
市単	防火水槽（角形8m <sup>3</sup> 級）撤去	1,283千円	丸広建設(株)	梅郷4丁目地内	4.5～6.17
市単	防火水槽（丸型40m <sup>3</sup> 級）撤去	7,791千円	(株)久下土建	河辺町1丁目地内	10.29～2.22
市単	望楼撤去	1,299千円	東京機工土木(株)	友田町5丁目地内	11.5～2.28

#### 8 避難所施設整備経費

災害時に被災者等の通信を確保するための特設公衆電話の設置工事を、市内10箇所の小学校で実施した。

## 9 急傾斜地崩壊防止事業経費

急傾斜地崩壊防止工事に当たり、東京都に対し、3地区の負担金を支払った。

(単位：千円)

名 称	金 額	市 負 担 率
河辺町1丁目地区急傾斜地崩壊防止工事負担金	10,146	10%
長淵1丁目地区急傾斜地崩壊防止工事負担金	3,926	
千ヶ瀬町1丁目地区急傾斜地崩壊防止工事負担金	660	

## 10 新型コロナウイルス対策避難場所環境整備経費

災害発生時の避難場所または避難所での新型コロナウイルス感染症等の感染防止対策として、シートマット、段ボールベッド等を購入した。

また、市内小中学校や市民センターなど市内39箇所に感染症対策用物品等を保管するための防災備蓄倉庫の設置を行った。